

地域から生まれた”きらり”と光るアイディアがズラリ★

住民提案型きらり☆輝く地域づくり事業選考会開催！

町民の皆さんが自ら主体的に企画・実施する、公益性のあるまちづくり活動の支援を目的とした「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」の選考会が六月二十七日、役場仁多庁舎で行われました。

事業創設から四年目を迎えた今年度は、過去最高となる二十一団体から特色ある事業の申請があり、中山間地域研究センターや奥出雲町商工会などから選ばれた五人の審査員が、各団体からのプレゼンテーションと質疑により審査を行いました。厳正なる審査の結果、十八団体の事業が採択となりました。



▲選考会の様子

【採択事業】

事業名	団体名
おろち花田植え	蔵屋おろち花田植え実行委員会
奥出雲カニ小屋？	奥出雲食フェスタ実行委員会
半谷花桃の里を作る会	半谷花桃の里を作る会
奥出雲神話トレイルウォーキング	奥出雲トレッキングを楽しむ会
三重の滝遊歩道の設置事業	自然を楽しむ会
青木實三郎先生の偉業を顕彰する事業	青木實三郎先生顕彰事業実行委員会
原田自治会ホテル川再生プロジェクト	原田自治会ホテル川再生プロジェクト実行委員会
カンナ流し場の再現(打ち鉾、流し鉾等によるカンナ流しと砂鉄の採取工程)	みどり会グループ
J R出雲八代駅環境美化促進事業	出雲八代駅美化促進会議
子ども王国「奥出雲・高尾ふれあい事業」	奥出雲高尾ふれあい牧場
金言寺の大銀杏を活用した地域活性化事業	金言寺の大イチョウを守る会
短歌と行燈による美しいまちづくり事業Ⅲ(与謝野鉄幹・晶子山陰吟行記念)	本町通り商店会
L I N E U P (ラインナップ)	奥出雲若者ネットワーク実行委員会 L I N E U P
ピアノの響きで地域の歴史を知り発信する思い出のピアノ再生事業	阿井地区ふるさと協議会
養蜂による地域振興ときらり輝く生きがいづくり事業	鋳物屋寿敬クラブ
追谷地区かな池整備事業	追谷地区かな池整備団体
大人山遊歩道整備事業	大人山を守る会
よろい・かぶとで村おこし(よろい・かぶと手づくり教室)	要害山三沢城跡保存会

人工衛星を打ち上げた町工場のおっちゃん

熱い思いを奥出雲の子どもたちへ

東大阪の町工場で人工衛星「まいど1号」を計画・実行をした中心人物であり、株式会社アオキ代表取締役兼東大阪市モノづくり親善大使の青木豊彦氏による講演会が、奥出雲町商工会の主催で六月十八日に横田高校第一体育館にて行われ、高校の全校生徒と仁多、横田両中学の三年生を合わせた計約四百六十人の子どもたちが青木さんの話に真剣に耳を傾けました。

青木さんの生まれ育った東大阪市はモノづくりの会社だけで約八千社あり、その多くは従業員五名程度の中小企業。父親の経営する会社に入社した青木さんは、ある時現場の職人の平均年齢が高くなっていることに気づきます。

青木さんは「モノづくりの町東大阪の原点である「歯ブラシからロケットまで作れる」の精神で、それを実証したら若者も興味を示すのでは」と思い、規模が小さくデザイン、設計の全てを自分たちでできる人工衛星の打ち上げを思いついた。その結果、今では修



▲横田高校で講演する青木さん

奥出雲地域防犯ボランティア交流会開催

町内外の防犯ボランティア団体や警察等約五十人が集まり、地域の連携や見守り活動を通して地域の防犯活動を活性化させようと「奥出雲地域防犯ボランティア交流会」が六月二十七日、カルチャープラザ仁多にて開催されました。

最初に、最近の犯罪情勢について説明があり、島根県内では年々刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、万引きや乗り物・住居での窃盗件数の割合が高く、無施錠率も全国上位であること、また、儲

け話や親族を装い、特に高齢者を狙った振り込め詐欺被害が増加していることが報告されました。続いて、ボランティア団体「うさぎママのバトロール教室」の武田信彦氏から子どもの安全と地域の連携についての講演があり、「子どもの安全は、①子どものちから(逃げる、助けを呼ぶ等) ②お



▲捕まらない距離の説明をする武田さん(右)



青少年の犯罪を無くし 明るい社会づくりへ

毎年七月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、青少年非行・被害防止メッセージ伝達式及び「社会を明るくする」運動法務大臣メッセージ伝達式が七月二日、役場仁多庁舎大会議室にて行われました。

伝達式には、井上町長をはじめ保護司会、更正保護女性会、雲南警察署、少年補導委員、地域安全推進員など約四十人が出席しました。

井上町長は「まず個々の周りが明るくないと地域、社会は明るくならない。職場の雰囲気や大事にし、その明るさを町全体に広げ地域で連携し合い、町としても先頭に立って活動を行っていく」とあいさつし、青少年の非行・被害を防ぎ、明るい社会づくりを誓いました。

七月三日、町内で働く若者十三人が講師となる横田高校進路ガイダンス「キミチャレ」が横田高校武道場にて行われました。

今回は、就職希望の三年生七十人に内容を告げずに集まってもらい、生徒の自主性を鍛えることも目的に行われました。

講師である先輩からは、どうしてこの道に進んだのか、もっとこうしておけば良かった等自身の体験談を話しつつ、奥出雲の地で働く熱い思いを生徒たちにつけ、生徒たちも相槌を打ったりメモを取りながら真剣に話を聞いていました。

奥出雲町福祉事務所の落合孝行さんは「自分の嫌いな事は未開拓の土地にチャレンジすることと同じで、まだ伸びしろがあるということ。好きな事は自分にとって武器になる」と生徒たちにエールを送り、ガイダンス後、生徒のひとりには「自分の可能性信じてがんばりたい」と話していました。

人生の先輩から高校生へ 将来へのアドバイス ～キミチャレ～

